



東田川文化記念館だより

【第324号】令和7年11月1日
 電話 0235-64-2537
 FAX 0235-64-2396
 休館日 毎週月曜日
 発行 公益財團法人藤島文化スポーツ事業団

わら文化に親しもう おもしろ講座 藤細工 千支のうま作り



指導者 JA庄内たがわ藁工芸部会のみなさま

12月13日（土）午前9時30分～12時

イメージです

会場 明治ホール

参加料 700円（当日集金）

対象 小学生から大人

定員 20名

持ち物 各自水分補給のための飲み物

お申込み 東田川文化記念館

定員になり次第受付終了



鶴岡市森片 中里氏の作品

うま年は 平成26年（2014年）平成14年（2002）昭和53年41年 29年 17年 5年 3年 大正7年（1918）明治39年（1906）です。午（うま）は、十二支の7番目。午年に生まれた人々は非常に活発で行動力に優れているそうです。

馬は古くから人間の生活に密接に関わり敬われてきました。庄内の農業の歴史の中で明治時代の「乾田馬耕」があげられます。“東田川郡会”は馬の力で田をおこしたりする馬耕法を学ぶため福岡県から稻作教師として島野嘉作氏を招きました。島野氏は成果が出るまで12年間藤島に滞在しました。『島野嘉作氏稻作改良碑』が東田川文化記念館の敷地に建っています。

年末年始休館 令和7年12月29日～令和8年1月3日

藤島地域小中学生書初め展 作品募集

【応募要項】

対象 小・中学生 毛筆の作品に限ります。

学校やクラス単位の応募は不可。個人で応募して下さい。

作品の大きさ 基本、学用半切。個人でお持ちの仮巻や表具に設置した作品可、但し当館のパネルの高さに合っている作品。床上最長240cm。当館所有の仮巻は学童の書初め半切用です。

題字 各自由・・・学校で習っている字や好きな字で可。

◆作品展会場 東田川文化記念館 ギャラリー藤
作品に賞はつきません。

作品の募集期間 令和8年1月4日（日）～10日（土）

作品の持込 東田川文化記念館 管理棟へ 夕方5時まで。月曜休館
作品と同じ半紙を1枚添付願います。

作品の展示期間 令和8年1月17日（土）～2月15日（日）

作品の返却 令和8年2月20日（金）以降、とりに来て下さい。

ばんどり・えづこ・にだわら・かます・雪ふみだわら・げしだわら・べんけい・えんざ・てっけし・はばき・のめぞ・やせうま・えづこ
上記のものは昔、稲を刈り、脱穀したあとに残った稲藁で作った生活用品です。昭和40年代には農機具が普及し農耕馬や牛での農作業が激減。現代の稲刈り機には藁を裁断する機能があって稲刈りの時に藁をその場で裁断して田んぼにそのまま残して肥料にするようです。藤島地域には「JA藁工芸部会」さんが藁工芸の作品作り体験を開催。「たわらや」さんでは“米俵”的制作工房があって、見ることができるようです。後世に残したい藁工芸。当館に藁で作った生活用品が展示されています。

